

# BIRD RESEARCH NEWS

## 2015年5月号 Vol. 12 No. 6

活動報告 20年で分布を拡げた鳥 ～繁殖分布調査～

活動報告 ID-BIRD try 第8回 富士山

お知らせ 調査研究支援プロジェクト成果報告会

イベント カワウとミミヒメウ 国際シンポジウム開催

生態図鑑 キビタキ

論文紹介 ナツツを振って重さを確かめるメキシコカケス

お知らせ 日本鳥学会2015年度大会 in神戸

活動報告 季節前線シギチドリ

Photo by Yoshiro Watanabe



## 活動報告

### 20年で分布を拡げた鳥

～繁殖分布調査からわかること～

植田睦之

日本野鳥の会, 日本自然保護協会, 日本鳥類標識協会, 山階鳥類研究所, 環境省生物多様性センターとの共同事業として来年から調査が開始される「全国鳥類繁殖分布調査」。この調査を行うことで、どんなことがわかってくるのでしょうか? 今回は、1970年代と1990年代に行なわれた過去2回の調査結果の比較からみえてきた、暖かい地域に分布を拡げている鳥と、寒い地域に分布を拡げている鳥についてご紹介します。

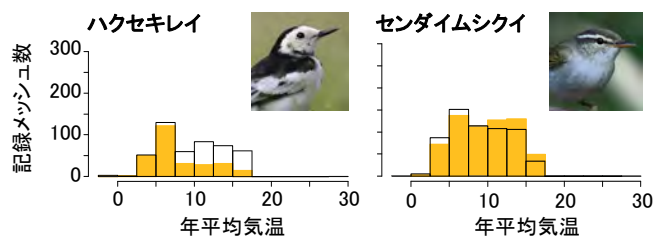


図. ■が1970年代, □が1990年代に繁殖が確認されたメッシュ数。ハクセキレイは、気温が低い地域ではあまり違いがみられないが、気温が高い地域では90年代の方が記録メッシュ数が多く、分布が拡大している。センダイムシクイは、年平均気温が7.5～10°Cの地域を境に、より寒いところでは分布を拡大し、暖かいところでは縮小している。

Photos by 三木敏史

### 暖かい地域で分布を拡げた鳥

暖かい地域で分布を拡げた鳥には大きく分けると2つのパターンがみられました。一つは北方系の鳥が暖かい地域に分布を拡げていったパターンです。このタイプの鳥としてはハクセキレイがよく知られていますが、今回の比較結果にもそれが反映されていました。また、ハシボソガラス、アオジなどもこのパターンに該当しそうです。もう一つは南方系の鳥が、暖かい地域でさらに分布を拡げ、寒い地域では分布を縮小させているパターンです。ホトギスやサンコウチョウがこれにあたります。

### 寒い地域で分布を拡げた鳥

こちららも南方系の鳥が、寒い地域へと分布を拡げているパターンがありました。ヒヨドリがこれにあたります。同じく南方系のメジロやヤマガラも分布を拡げているのですが、これらの鳥は気温に関わらず全体的に分布を拡げていて、特に「寒い地域で」というわけではありませんでした。また、センダイムシクイ、コマドリ、オオルリといった夏鳥は寒い地域で増えているようでした。これがなぜなのかは、よくわかりません。

前回の調査から20年経った今、分布はさらに変化していると思います。来年からの調査で、それらを明らかにしていきたいと思います。



### ニュースレターを発行しました

「全国鳥類繁殖分布調査」のニュースレターを発行しました。右記からどなたでもご覧いただくことができます。また参加登録していただいた方には、発行されるたびにお送りします。参加登録がまだの方は、ぜひご登録ください。

ニュースレター 創刊号

<http://www.bird-atlas.jp/news/banews01.pdf>

参加登録のページ

<http://www.bird-atlas.jp/volunteer.html>